御挨拶

あふみヴォーカルアンサンブル　代表　長谷部 健 ● TAKESHI Hasebe

本日は、あふみヴォーカルアンサンブル創立25周年記念第9回演奏会「古（いにし）へのイタリア」にご来場いただき、厚く御礼申しげます。

25年前、当時の長浜公民館の一室で、団の名称案の中から「あふみ（淡海＝琵琶湖）」に全会一致で即決した、あの時の高揚感がつい先日のように思い出されます。以来、指揮者を置かずに、「自主的に(＝自分たち勝手に?)」活動を続けて25年が経ちました。これも、ひとえに演奏会の度にお越しいただいた皆様からの応援、叱咤激励の賜物と御礼申し上げます。

本日は、ルネサンス音楽の発展の地であり「西洋音楽の原点」ともいえる「イタリア」に焦点を当てております。イタリアの「愛」「祈り」「歌」からなる演奏会、最後までごゆっくりとお聴きください。

Basso Continuo

バロックチェロ　上田 康雄 ● YASUO Ueda

京都市立芸術大学作曲科専攻。在学中にチェロを始める。故黒沼俊夫、岩淵龍太郎、平井丈一郎の各氏に師事。京都市交響楽団に13年間在籍。1998年から2017年まで京都フィルハーモニー室内合奏団に在籍。90年オランダ・デンハーグ王立音楽院及びアムステルダム古楽アカデミー留学。サーティフィケートを取得。

東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパンで活躍。バロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音奏者として参加。古楽アンサンブル「ザ・ガット・クラブ・バンド」主宰。鈴木秀美、J.T.リンデン、ヴィオラ・ダ・ガンバを平尾雅子の各氏に師事。室内楽をW.クイケンに師事。

現在、立命館大学交響楽団弦楽部トレーナー・におの浜弦楽アンサンブル指揮者。

チェンバロ　吉田 祐香 ● YUKA Yoshida

2007年ライプチィヒ音楽芸術大学古楽器科に入学、チェンバロを専攻。2013年にマスター課程(修士課程)修了。 教会やコンサートホールで室内楽の伴奏者として活動し、2013年に日本へ帰国。東近江市在住。

チェンバロを長瀬節子、エリック・L・ケリー、トビアス・シャーデ、ニコラス・パールの各氏に師事。室内楽団 ゾリステン彦根、エンセンブレ・シュヴェルツェ、石山高校音楽科卒業生による芸術家集団ラピスモン、鍵盤デュオ・プチ クレアド メンバー。

Formatore

アンサンブルトレーナー　石原 祐介 ● YUSUKE Ishihara

京都市立芸術大学、同大学院声楽専攻を卒業、修了。卒業時には音楽学部賞を受賞。第21回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第２位。これまでに京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、神戸市混声合唱団コンサートマスターを歴任。また、久石譲ジルヴェスターコンサートなど様々なオーケストラ公演の合唱指揮者を務めている。

声楽を灘井誠、山口はやとの各氏に師事。指揮法を青木邦雄氏に、合唱指揮を吉村信良氏に師事。T.カリュステ氏、E.オルトナー氏、田中信羽氏、大谷研二氏による合唱指揮マスタークラスを修了。

現在、日本センチュリー合唱団指揮者。日本合唱指揮者協会会員。京都バッハ合唱団団員。アンサンブル・ガウディウム主宰。

ヴォイストレーナー　矢守 真弓 ● MAYUMI Yamori

エリザベト音楽大学声楽科卒業。NHK洋楽オーディション合格。1995年イタリアにてベルカントアカデミア修了ディプロマ取得。1996年飯塚シニア音楽コンクール声楽部門第2位受賞。ソリストとして活躍するとともに、少年少女合唱団「星の子」、穂積コールシュクレ、能登川コールシャンテ、アグネス倶楽部の合唱指揮者、混声合唱団「京都木曜会」をはじめ合唱団ＡＵＧ、敦賀市民合唱団など各地のヴォイストレーナーを務める。

声楽を木川田温子氏に、合唱指揮法を故・吉村信良氏に師事。

Afumi Prossimo!

あふみヴォーカルアンサンブル
クリスマスコンサート2023

～歌は人々を結ぶ～

2023年12月16日（土）18:30
長浜市六角館ホール
（六荘まちづくりセンター）

詳細は後日あふみヴォーカルアンサンブルHPにて
website　http://www.afumi.com/

Soprano	Alto	Tenor	Bass
勝間 正美	清水 芳子	久保田一臣	長谷部健
中城 宗子	長谷川 公子		
長谷部 茂子	藤 令子		
	吉田 祐香		

あふみヴォーカルアンサンブル●AfumiVocal Ensenble

1998年、滋賀県長浜市にて結成。

「あふみ」とは「琵琶湖」を意味する「淡海（あわうみ）」が転じたもの。結成当初より一貫して指揮者を置かず各団員の音楽的感性のぶつけ合いと融合をモットーに音楽作りをしている。タリス・スコラーズ指揮者ピーター・フィリップス氏のレッスンを受け、ルネサンス時代の宗教曲・世俗曲を中心に取り組みを続ける一方で、近現代曲や日本の童謡・唱歌等時代やジャンルを越えて幅広い楽曲を取り上げている。

近年は古楽器（リュート、リコーダー）やオルガンと共演するなど活動の幅を広げるとともに、各種のコンクールやコンテスト等にも参加し、第19回宝塚国際室内合唱コンクールにおいて初出場で金賞（混声合唱の部）を受賞、第29回には銅賞（ルネサンス・バロック部門）を受賞、しがヴォーカルアンサンブルコンテストにおいては6回金賞を受賞した。演奏会とクリスマスコンサートの主催、地域の行事や学校公演出演の他、滋賀県外での演奏の機会も多く、2009年7月に京都で開催されたアルティ声楽アンサンブルフェスティバル、2010年10月に岡山で開催された国民文化祭、2012年3月に福島で開催された声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場した。

～創立25周年記念～

あふみヴォーカルアンサンブル　第9回演奏会

Afumi Vocal Ensemble 9° concerto

古へのイタリア

meravigliosa vecchia italia

LUCI PLAZA 米原市民交流プラザ（ルッチプラザ）・ベルホール310

2023.7.23[Sun]

14:00/Start　13:30/Open

主催・企画■あふみヴォーカルアンサンブル
後援■彦根音楽連盟　滋賀県　滋賀県教育委員会　米原市　米原市教育委員会
NHK 大津放送局　朝日新聞大津総局　中日新聞社

25 AFUMI VOCAL ENSEMBLE 9

∞ PROGRAMMA ∞

◆イタリアのマドリガーレ集◆
・Jacques Arcadelt(1507-1568)
Il bianco e dolce cigno
真白で優しい白鳥は
・Cipriano de Rore(1515-1565)
Ancor che col partire
別れの時は
・Domenico Maria Ferrabosco(1513-1574)
Io mi son giovinetta
私は若い娘
・Luca Marenzio(1553-1599)
Zefiro torna e'l bel tempo rimena
西風が帰り

❖

◆パレストリーナ　モテット集◆
・Giovanni Pierluigi da Palestrina(1525-1594)
Veni sponsa Christi
来たれキリストの花嫁
Ego sum panis vivus
私は命のパンである
Super flumina Babylonis
バビロン川のほとりで
Loquebantur variis linguis
使徒たちは口々に

❖

◆ナポリ民謡集◆
・Przemyslaw Scheller 編曲
O sole mio
・増田順平 編曲
海に来たれ
・増田順平 編曲
遙かなるサンタルチア
・堀内貴晃 編曲
フニクリ・フニクラ

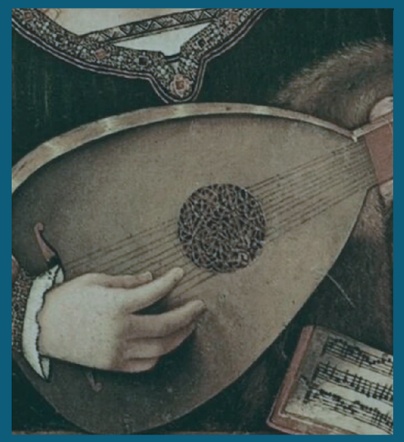
※Intermission※

◆イタリアバロックの宗教音楽◆

・Antonio Lotti(1666-1740)
Miserere in sol minore
ミゼレーレ ト短調
・
・Francesco Durante(1684-1755)
Magnificat in Si bemolle maggiore
マニフィカート 変ロ長調

バロックチェロ●上田康雄
チェンバロ●吉田祐香

※コンサートナビゲーター●石原祐介



◆イタリアのマドリガーレ集◆

本日最初のステージではルネサンス時代のイタリアのマドリガーレ4曲をお送りいたします。この時代の音楽は大まかに言って宗教音楽と世俗音楽に大別されますが、世俗曲の代表的なものがマドリガーレであり、神への信仰などを歌った宗教曲とは異なって、その内容は愛だの恋だの喜びや悲しみなど所謂人間の本質的なものを歌ったものが中心となっています。とはいえ採用されている詩は当代きっての詩人の作品であり、作曲家も教会とは離れた立ち位置で自分のアイデンティティを発揮しようと多種多様な手法を使って詩の世界を表現しようとしているのが楽譜から読み取れます。

今回は４人の作曲家の作品を演奏いたします。最初に演奏するアルカデルト以外は演奏機会のあまりない作品ですが、他愛もない恋愛から深愛を感じるものまで、その詩の世界や作曲上の表現手法は多岐に亘っています。時代がバロック音楽へと進む過程の中で不協和な音程関係を用いて愛の苦しみや痛みを表現する手法（モンテヴェルディは第二の手法と呼びました）が出てきましたが、今回の4曲はいわゆる音楽的修辞法と言われる和声の響きが持つ色彩感と音型によって詩の世界観を表現している曲を選んでいます。

今でこそ古楽の作品として演奏しますが当時としては流行歌であり、世が世なら今で言うポップスと何ら変わりはありません。イタリア語とはいえ、作品の情景や詩の世界にある情感が皆様に伝わるよう演奏できればと思います。

◆ナポリ民謡集◆

イタリアの「歌」といえば・・・。
そう、イタリア語で「歌」を意味する「カンツォーネ」。主にイタリアの大衆歌曲を指しますが、その代表が「ナポリ民謡」と言えましょう。日本でも人気がありますので、いくつかはご存知の曲もあると思います。

では、ナポリはどんな街なのでしょうか？。位置はイタリアを長靴（左がつま先）に例えるとスネのあたりにある港町です。旧市街地は「ナポリ歴史地区」として世界遺産にも登録されている風光明媚な観光都市です。やはり「港町」には歌がつきもののようです。太陽と恋と別れのある場所。日本の港町といえば横浜、長崎、神戸が思い浮かびますが、やはり多くの「歌」がありますね。

「ナポリ民謡」に対する印象では、オペラ歌手が「ナポリ民謡」を朗々と歌うあのシーン。1990年から2000年頃の、「三大テノール」と称されるパバロッティ、ドミンゴ、カレーラスの3人組の人気は凄いものがありました。

「フニクリ・フニクラ」は日本では「鬼のパンツ」の替歌と振付で超有名です。この曲は多くの人の興味を引くようで、現代音楽の12音技法で知られている、あのアルノルト・シェーンベルクも室内オーケストラ用に編曲したりしています。興味のある方は聴いてみてください。本日演奏します合唱編曲は、堀内貴晃氏によるものです。ヴェスビオ火山の観光列車のCMソングだからか、なかなかアツい、高カロリーな編曲になっています。
「ナポリ民謡」で、皆さんにイタリアの「歌」を感じていただけるステージになりますように！

◆パレストリーナ モテット集◆

本日演奏致しますパレストリーナのモテットは、「四声モテット集」の「第１巻」(1564)と、「第2巻」(1587)に載っている楽曲です。「第１巻」の献呈辞において、パレストリーナ自身の音楽観を表明している興味深い箇所がありますのでご紹介します。

―(略)古代人たちの説話では、自然物や生命のない物までもが、素晴らしい歌声に感動したと云い伝えられております。これほど音楽は、崇高な喜びを求める心を満たしてくれるわけでございます。
ですから私たちの先祖の非常に豊かな学識人たちが、聖なる礼拝を挙げている間、神への崇拝をさらに深めるため、音楽を使い始めたことには一理あるわけでございます。
聖なる場所に、宗教的な信仰心に駆られて集った人々が、美しい声の響きや甘い歌声を聴いて、心から感銘し、喜びに浸り、その場所で熱心に祈祷が続けられるために、音楽が使われるようになったのでございました。
音楽に非凡の才能を持つ人たちが、背徳的カンツォーネに夢中になり、甘美なメロディで曲を飾っておりますが、その精力を神への祈りの歌を飾るために捧げるならば、人間社会は、かなり改善され、発展していくことに違いございません。
私といたしましては、自分の無能さを充分に存じておりますものの、人々が聴いて、豊かな美しい歌だと理解されるよう、真心込めて作りました。(以下略)―

本日の演奏が、パレスリーナの望むものにどのくらい近付けていますでしょうか。ご期待ください。

[参考文献：リーノ・ビヤンキ著『パレストリーナ　その生涯』(カワイ出版)]

◆イタリアバロックの宗教音楽◆

本日最後のステージはイタリアバロックの宗教作品2曲をお聴きいただきます。第6回の演奏会からその時代様式に倣ってバロック音楽を通奏低音を伴っての演奏を続けていますが、今回はロッティとドゥランテという二人のイタリアバロックの作品をお送りいたします。

ロッティといえば合唱作品では8声の「十字架に架けられ」が有名なところですが、今回は正式な出版がされていないと思われる４声の「主よ憐れみたまえ」を演奏します。調性の異なる同名曲が存在しますが、今回はト短調で演奏時間が12分強に及ぶ単曲作品の方をお聴きいただきます。

ドゥランテの作品もあまり演奏機会が多くないのですが、ドゥランテはその当時、和声の魔術師とまで言われたA.スカルラッティを凌ぐ評価を得ていたほど高名な作曲家で、かのペルコレージの師匠としても名を馳せています。本日演奏するマニフィカート変ロ長調は近年までペルコレージの作品と見做されていたようですが、幸いにもドゥランテの作品の殆どが現存しており、その中に本曲があったために現在ではドゥランテの作品とされています。

本日演奏する2曲は同じバロック時代の作品ですが、ロッティが不協和な響きを取り入れた後期ルネッサンスからの流れを汲む先進的な作品になっているのに対して、ドゥランテは整然とした和声感の中で古典派に繋がっていく様式を取っています。生没年も大幅には違わない二人の作曲家の作風がかなり異なっていることも興味深く、当時のイタリアの音楽事情が多岐に亘っていたということを窺い知れるものではないかと思います。